

私のGolf Life

荒川化学工業(株) 富士工場長

鴨部 秀明



私は北海道の釧路という土地で30年程前にゴルフと出会い、今年4月より前任者を引き継いで富士宮ゴルフクラブのメンバーにさせていただきました。さて皆さんは北海道のゴルフ場と聞いて、どんな印象をお持ちでしょうか。きっと広大な敷地で涼しく快適にプレーしていると思われるのでしょうかね。基本のプレースタイルはキャディー付きの歩き&18ホールスルーで昼食、一杯?飲んだ後に9ホールとゴルフ三昧の一日を思いっきり楽しみます。ある意味では正解なのですが、北海道のゴルファーにとって、特に釧路は厳しい環境だったのを思い出します。プレーが出来る期間は4月中旬から頑張って11月一杯までの約半年間しかありませんので、予約も儘ならない状態でした。そんな中でもゴルフの楽しさを知ってしまった私がとった手段は平日の早朝ゴルフです。手引きカートセルフですが、一人でもプレー可能で当時は2000円程度。日本というのは狭い様で広くてしっかり時差があり、釧路では夏季の日の出が早く、朝3時半には薄暗いもののスタート出来るのです。涼しいので汗もかかずに7時にはゴルフ場を後にして出勤していたのが、私のfirst Golf Life。

時は経ちそんな私が関西方面で勤務した際は、ゴルフの毒?が全身に回った状態であり、年間を通じてプレーできる環境は素晴らしいものでした。更に大きな転機となったのは、妻がゴルフを始めた事です。私もゴルフが出来たら、遠くに旅行に行っても二人で楽しめるよねって言ってくれたのです。共通の趣味を持つことに悪いことは全くなく、即OKしたのは言うまでも有りませんが、ただ一つ条件は必ずレッスンに通う事です。諸先輩から夫婦でゴルフをする際には、悪気はないものの、つい奥さんに対して、『今のはこうなっているよ』、『何回教えたら解るの』なんて言ってしまう喧嘩になりゴルフが楽しくなくなるから注意した方がいいよと聞いていました。だから技術的

な事は一切教えることは出来ないから、レッスンでしっかり基礎を作ることにしたのですが大正解。だって奥さんが知りたいのは『こうなっているよ』ではなく、『こうやったら今の悪いところが治るよ』であり、指摘ではなく対策なのですから。転勤族ということもあり、ホームコースを持つことなく、二人で全国を又にかけて色々なゴルフ場でプレーするのが私達のsecond Golf Life。

現在は法人メンバーとして登録頂きましたので、通常の予約以外にも、天気が良くスケジュールが空いた時には、昼からハーフを当日予約し安価に楽しんでいます。最初は何か物足りない感じでしたが、ハーフのプレーは一打を大切に、そして真剣にプレーしている自分に気付き、疲れも翌日に残らず案外いいものですよ。食事代も飲み代の支払も無いのでゴルフ場としては招かざる客になっている可能性もありますが、放浪ゴルファーは、当クラブでのプレーが一番多くなっていますので、どうかお許し下さい。入会させて頂いて感じたのは、やはりメンバーとなってホームコースを持つことは必要だということです。

私達の夢は、無事にリタイヤした後に時間を気にすることなく、好きな時に年中ゴルフができる終の棲家を見つけることです。様々なゴルフ場を回るのとはそんな目的もあつての事ですが、静岡県は素晴らしい環境ですね。もちろん富士宮ゴルフクラブは間違いなく有力候補です。こんな私達ですが、クラブで見かけられたら皆様のゴルフ仲間に加えて頂ければ幸いです。これが私達のThe next Golf Life。

最後に私の様に転勤族であれば、奥さんをメンバーにすることはやはり躊躇します。

転勤期間の限定で、年間夫婦会員みたいな制度があれば、経費が2倍かかる私達みたいな人には大変助かりますし、プレーする回数も絶対に増えるでしょう。クラブの皆さん愛の手を。